

## 第50回大分県消費生活審議会

### 「消費者教育部会」の結果（概要）

#### 1 開催日時

平成30年1月23日（火）10時から11時30分まで

#### 2 開催場所

大分県消費生活・男女共同参画プラザ2階 大会議室

#### 3 出席者

○委員

○委員

学識経験者 青座真貴子委員、熊谷和世委員、財津庸子委員

消費者 青木博範委員、井田雅貴委員、深見憲一委員、増田裕子委員、  
吉岡尚美委員

事業者 森 奈美委員、吉岡 徹委員

（以上 10名）

欠席委員：田中孝明委員

○事務局

消費生活・男女共同参画プラザ所長

兼 県民生活・男女共同参画課長

〃 消費生活班課長補佐

〃 〃 主幹

〃 〃 主幹

〃 〃 主査

〃 〃 主査

〃 〃 主事

後藤素子

原田幸子

梶原清司

真部文寿

大原利枝

古田純子

戸高諒子

（以上 7名）

#### 4 公開、非公開の別

公開

#### 5 傍聴人数

0名

#### 6 議題及び結果

##### （1）議事録署名委員の選任

議事録署名委員に、青座真貴子委員と井田雅貴委員が選任された。

## (2) 議事

消費者教育に係る取組について

アイネスが実施した消費者教育・啓発に係る取組の平成28年度の実績及び平成29年度の実績見込みや取組事例について報告・説明するとともに、来年度の取組について協議した。

### ○主な意見・質問等

- ・地元の消費生活相談員から、消費者の無知や過剰な要求からトラブルが生じることもあり、正しい知識を身につけるため、幼稚園から大学まで一貫した形での啓発が必要だといった意見を聞いている。
- ・地域によっては老人会が機能しておらず、高齢者への啓発が難しくなっているようなので、老人介護施設等と連携し、デイケア参加者等を対象に実施することを検討してはどうか。
- ・啓発・教育にもう少し事業者の視点を入れられないか。地元の商品を地元の商店で購入することの意義なども中・高生に教えてもらいたい。また、出前講座の講師として事業者が参加すれば、消費者と事業者の相互理解が進むと思う。
- ・学校や高齢者への啓発・教育の機会を得るため、いつ、どこに、どのように知らせればよいのかが、連絡会議やこの審議会ですしずつわかってきたのではないか。
- ・マスコミへのPRが重要。

## 7 会議の資料名一覧

- 資料1 消費者教育・啓発講座等開催実績
- 資料2 「アイネス消費者教育夏休み講座」開催実績
- 資料3-1 取組事例（三重総合高等学校）
- 資料3-2 取組事例（大分大学教育学部附属小学校）
- 資料3-3 取組事例（臼杵市立市浜小学校）
- 資料3-4 取組事例（臼杵支援学校）
- 資料4 「消費者教育に関する連絡会議」の開催状況について